

東京形成歯科研究会
&インプラント国際情報H. 22. 4. 21 (WED)
No.8

原稿募集中

国際PRP臨床応用研究会台北大会へ参加

東京形成歯科研究会会員

あい歯科クリニック 西山和彦

PRP臨床応用研究会（奥寺会長以下

15名）は2010年2月6〜7日、台北市で行われた、国際血液生体臨床応用会議（PRP, PRF, PPP and Their Clinical Application）台北大会へ参加した。

奥寺会長が台湾インプラント学会の重鎮である蘇嘉俊（Dr. James C. Shu）先生と旧知の仲で、実現した企画である。講演並びにLive operation は以下の通り。

1. 「血液生体材料（濃縮血小板）に含まれる自己由来成長因子」の臨床応用」

発表：Dr. Thierry Burnouf (Human Protein Process Sciences, Lille, France, WHO Blood Product Safety 顧問、台北大学客員教授)

座長：西山和彦（Dr. W. E. Lai）
2. 「インプラント周辺における骨再生」
発表：曾育弘（Dr. Sebastian Tseung）先生座長：鈴木正史先生（Dr. P. T. Pan）
3. 「審美を念頭においた顔面形成外科手術における軟組織への応用、ならびに各種インプラント植立の際の骨造成にPRPを応用した研究」
発表：奥寺元先生（東京形成歯科研究会会長）、ならびに奥寺俊允先生座長：豊田寿久先生（Dr. George T. Lim）
4. 「PRPを用いた場合のインプラント周囲骨造成の微少血管レジニキャスト法（Microvascular resin cast method）による観察」
発表：松尾雅斗准教授（神奈川歯科大学、

Dr. Sebastian の診療所で

事が出来た。

午後に入りLive op. が行われた。

1. 「PRP, PRF Membraneを用いた、両側Sinus Lift」

患者は40歳代後半、消防士で強健な身体をもち、世界のDr.に奉仕する意義を認識し、Live op. のボランティアを買って出られた方であった。執刀者、曾育弘（Dr. Sebastian tseung）先生は、後述するように、台湾一の規模を誇る医療集団の経営者・臨床医でありながら、その手術手技は「経営に長けるものは、実力が供なわな」という日本の常識を覆すような、見事な手さばきで、我が国との違いを感じた。

翌日も、3時間余にわたるLive op. を見学した。

2. 「上顎前歯部の狭窄歯槽骨への骨造成とインプラント植立手術」
20歳代の女性警察官で、白バイで転倒

生の演奏

して上顎4前歯を失い、上口唇が陥凹し顔貌であったが、執刀する陳建志（Dr. Chen C. Chen）先生を心から信頼していた。慎重・丁寧な手術で、底力を垣間見た。

Live op. 終了後、曾育弘先生の経営する「Dr. Wells クリニック」（台湾、中国本土、フィリピン、ニューヨークに55件の診療所を展開し、歯科医師数約300人を擁する）を見学した。

初日の夜は、Gala party が行われ、二胡の伴奏による、中国と日本の琴の弾き比べ演奏もあり、両国の親善も高まった。シンポジウムが終わった二日目の夜は、蘇嘉俊（Dr. James C. Shu）先生が自分の故郷である「蘇澳」という太平洋に面した港町で、是非マグロを御馳走したいと招待して下さい、台湾の海鮮料理を楽しんだ。

コラム

最近組織の権限が強くなり、行政の保健取締りが捜査件と同様になり、裁量権として保険医の取り消しを行った事が裁判となり、行政の裁量権には限界があると敗訴となった判例がある。私共の歯科領域の組織権力には問題と限界があるのでは…。

はたまた、学会組織が曖昧になり、純粹に学問の推移を考える事がなくなり発展をそぐ行動になりかねない言動が行われている。それは臨床解剖の勉強を阻止する等、極めて紙一重の繊細な事には注意が必要と思われるのではないかと…。

不正使用事件では、この事が発端として医療の現場に誤解を生じて全体に波及を及ぼす事が危惧される。その経緯は個人のあくまで異例の事であったと思われる。それに託してつかさず企業（そうゆう事をしないようにと）が動く事も相変わらず企業誘導の臨床である。既に個人としての不祥事に対して社会的制裁を受けており、それ以上組織が介入する事はやぶ蛇にならなければいいのだ…。

倫理をかたに論文の投稿を拒否する。論文における投稿規程の細部の規定はされておらず、拡大解釈過ぎるのでは…。未承認材料・機械においても、その事は保険点数導入の未承認なのか、はたまた厚労省が禁止薬物・機械との規制が混乱して全てを拒否する傾向がある。これらの事では、日本では医学の発展が見込めない環境になって行く事が器具されるのでは…。

インフォームドコンセントが確立されて、今まで円満に医療や研究が進んできた経緯を無視し、また最終的には個人の責任で行われ、いくら組織が厳しくしても組織が助けてくれない実態がある。それゆえ、医師の裁量権として個人的責任を尊重するべきだと思う。不必要な厳しいこれらの規制の責任は後世の歴史的禍根に責任がとれるだろうか？

奥寺元 記

2009 年度(社)日本口腔インプラント学会認定施設 東京形成歯科研究会主催、認定講習修了する

東京形成歯科研究会副会長 日本橋りゅうデンタルクリニック 柳 時悦

平成22年3月28日(日)、朝からタイ
トなスケジュールで2009年度認定
講習会が修了した。午前から講義をし、
午後からは会場を北とびあに移して修了
証授与式、謝恩会が行われた。

午後の修了証授与式では、受講者およ
び関係者各位がアカデミックドレスを着
用し、施設長の奥寺先生のご挨拶から始
まり、東京形成歯科研究会名誉顧問小嶋
榮一先生の送辞があり、(社)日本口腔
インプラント学会認定施設の京都インプ
ラント研究所所長山上先生からの祝辞を
京都インプラント研究所副所長、咲間
義輝先生が代理として述べられ、神奈川
歯科大学顎顔面外科講座准教授、笹倉
裕一先生、前日本歯科医師会理事、高木
忠雄先生からも祝辞を頂き、修了される
先生方一人一人に修了証が手渡され、最
後に受講者を代表して、辻浩洋先生より
答辞が述べられた。振り返ってみれば
1年間に長くもあり、短くも感じられ、
感慨深い修了式となりました。また、今
回初めての事ですアカデミックドレス
を着た時の皆のうれしはずかしそうな様
子が印象的な修了式でした。その後、奥
寺元会長の「見果てぬ夢」出版記念のミ
ニ講演会が行われた。服部 善郎釣名人
による「釣り人の品格」と元衆議院議員、
株式会社みづほ代表取締役渋谷 修氏に
よる「見果てぬ夢をどう読むか」が講演
された。その後、席を移し謝恩会が行わ
れた。

謝恩会は会長の奥寺先生が企画され、
皆様を生きた三味線演奏でお出迎えをし、
華々しく始まった。外人バンドによるミ
ニライブや第一線の三味線演奏家、内閣
総理大臣杯を受賞した民謡歌手、日本舞
踊の巨匠達が勢揃いし、西洋と東洋の文
化が見事にコラボレーションしていた。
受講された先生方には思い出深い認定講
習会になったと思う。



認定講習会を受講して

所沢市開業 辻 浩洋



桜の花もようやく満開のとなり、そこかしこの桜の名所は大勢の見物客で賑わっています。今の日本は超不景気の風が吹き荒れ、異常に厳しい就職戦線、消費の低迷など国民生活は大変大きな不安を抱えています。歯科界を取り巻く環境も、歯科医院の増加に伴う、患者減、収入源といった難問が山積しております。本当に困った事だと思えます。なんとか頑張つて、この難局を乗り切れるように診療に精を出している現状であります。歯科医師の待遇が、社会的にも、経済的にも改善し、早いうちに安定した日常生活が送れるようになることを願っております。

歯科医師になって以来、様々な治療で苦労しました。とりわけ、どんなに頑張ってもあかない感染根管の治療、そして、歯牙保存を目指して頑張っても、歯牙支持組織の退縮のため、抜歯を余儀なくされる歯周治療、そして印象から咬合採得、そして完成まで研究を重ねて作製したのに、安定しない下顎の総義歯等です。難しいとつくづく思いながら、同じ失敗を何度も繰り返して心をもめております。けれどもその度に、本で調べたり、エキスパートの先生に尋ねたりして、より良い治療を目指し、少しでもいい結果が出るように頑張つて来ましたが、しかしながら患者さんに十分な満足を与えることは難しく、結果的には何とか我慢して頂いているのではないかと案じております。見方によっては、歯科医師の作製する補綴物は、画家とか彫刻家或いは作曲家が作る作品と同じように、一つの芸術だと思っております。見た目に美しく、触っても感じよく、そして十分機能する。それが最終的な目標だと思います。しかしながらそれらを十分に満たすことは、本当に難しい。40年以上の臨床経験ですが、なかなか満足出来ない結果に、やり場のない空しさが残る事もある、歯科治療の難しさを痛感しております。安定した下顎の総義歯を目指す気持ちには変わりはありませんが、より良い口腔環境の構築を目指して、インプラントを始めました。当時は、インプラントを学ぶ機会も少なく、ほとんど独学に近い状態でした。不安もありましたが、やはり義歯では得られない咀嚼機能の回復と、違和感のない爽快感は大きな魅力でした。見よう見まねで始めたインプラントでしたが、その後、インプラントは急速に広まり、あちこちで講習会が開かれるようになりました。しかも専門医制度が確立し、認証医とか、専門医として指導医の事が、しばしば報道されるようになり、自分も年をとってしまったけれども、しっかりと理論のもとに、正しくそして安定したインプラントが出来るように、もう一度勉強しようと思つて研修を受講しました。奥寺先生とは、塩路先生のONの講習会で、初めてお目にかかり、その後ICOIでも大変お世話になりました。一体いつ勉強されるのかと、思うぐらいに超多忙にもかかわらず博学でおられますし、学会でも大変ご活躍されておられるので、年をとって不安もあったのですが、思い切って受講しました。短いようでも開業医にとって1年は大変厳しい1年でした。東京形成の研修は、カリキュラムも豊富で、基礎的な勉強から臨床的な事まで、そして模型実習から東京歯科大学での解剖の実習など大変有意義だったと思います。最後に3月28日北とびあひの16階の錦の間で建設中の東京スカイツリーを見ながら、厳かな雰囲気の中、角帽をかぶり制服に身を包んで、修了証を受領し無事卒業できました。修了式後は、別室で奥寺先生の書籍出版記念を兼ねてのパーティが行われ、大勢のゲストを迎えての楽しいひと時を過ごしました。本当に無事研修を終える事が出来た事を感謝するとともに、この一年大変お世話になりました奥寺先生はじめ、スタッフの皆様、そして講演して下さいました講師の先生方、一緒に受講した多くの先生方にお礼申し上げます。



BLS 実習



講義風景

毛細血管研究会（顎顔面口腔部会併設）

第4回例会に参加して

福島県開業（あい歯科クリニック）東京形成歯科研究会 西山和彦

平成22年3月21日、東京都北区、王子歯科美容外科クリニック内研修室において、毛細血管研究会（顎顔面口腔部会併設）第4回例会が開催された。末梢血管の観察は、健康状態の把握や潜在している病気の発見に利用できる事が期待されており、これまでも医師や毛細血管に係る研究者を中心として、情報が交換されてきたが、今回は顎顔面口腔部会が設立され、歯科医師も多く参加して、出席者は30名を超える盛況であった。

講義は以下の通り

1. 会長 教育 講演：Pathology Conference Japan 代表 三浦 一郎先生「毛細血管基礎と臨床」

座長：木下三博先生

指先の毛細血管観察により、強皮症を中心として膠原病、高脂血症、高血圧、統合失調症等との関連が示唆される事を論文を引用して紹介した。また、血管観察症例の経験から想定される心機能の低下、アレルギー、動静脈移行部における血流の変化等が説明された。

2. 基調講演：神奈川歯科大学 松尾雅斗准教授「口腔における毛細血管基礎と臨床」

座長：原田庸平先生

合成樹脂注入血管鑄型法（Resin Cast Method）を用いた歯髄並びに歯周組織の血管像を多数解説した。

3. 口腔部会会長講演：奥寺元先生「口腔毛細血管観察による臨床への応用」

座長：長崎 信司先生

口腔部会長となった先生より、口腔は毛細血管に富む領域であり、この事が口腔内細菌の抑制に役立つ反面、炎症が進んだ場合には炎症を拡大させてします

「両刀の剣」である事の他に歯周病や審美歯科における毛細血管観察の将来性を解説した。

4. 講演：九州工業大学 永山勝也准教授「毛細血管の工学的モデル化」

座長：三浦 一郎先生

先生は、毛細血管、腫瘍成長と血管新生、皮膚代謝、毛根成長等を工学的な視点から解析研究しているが、今回は毛細血管で起こる現象を解析・実験で可視化する研究を紹介した。当初は赤血球の変形力学から始まり、近年は毛細血管の変形現象の計算に至っており、これまでに毛細血管内壁への付着物が変形を引き起こす一要因である事、また赤血球は変形を抑制する等、興味深い結果を解説した。講演後、(株)徳の河越 景史氏の操作で、毛細血管観察装置「Bscan」の観察実技と活発なディスカッション（司会：鯨岡昌寿先生）が行われた。



学術大会、講演会及び研修会の開催

・第40回学術大会

日 時 平成22年9月17日～19日
場 所 札幌コンベンションセンター等
参加予定者 4,000名 演題数 300

・各支部学術大会

東北・北海道支部
平成22年9月17～19日 札幌コンベンションセンター（札幌市）
関東・甲信越支部
平成23年2月12日～13日 パシフィコ横浜（横浜市）
中部支部
平成22年11月13日～14日 四日市市文化会館（四日市市）
近畿・北陸支部
平成22年11月20日～21日 AOSSA（福井市）
中国・四国支部
平成22年11月13日～14日 くにびきメッセ（松江市）
九州支部
平成23年1月22日～23日 かごしま県民交流センター（鹿児島市）

- ・日本美容外科学会 平成22年6月28日 東京ドームホテル
- ・日本医用歯科機器学会 平成22年8月21～22日 日本大学歯学部 2号館 B1
- ・国際血液生体臨床応用会議 予定
- ・レーザー学会 予定
- ・毛細血管研究会（顎顔面口腔部会併設）11月参加

平成22年度
東京形成歯科研究会主催
(社)日本口腔インプラント学会認定
講習会日程

予定日程	講師	時間	研 修 内 容
1 4月18日(日)	小嶋 榮一 先生 古澤 利武 先生	8	インプラントの歴史 診療と診査
2 5月23日(日)	篠田 壽 先生 香月 武 先生	8	骨代謝に及ぼす影響(BH) 口腔外科手術の基本
3 6月20日(日)	松尾 雅斗 先生 榎本 紘昭 先生	8	PRPの基礎と臨床応用 インプラント臨床(審美的インプラント症例)
4 7月25日(日)	塩路 昌吾 先生 矢島 安朝 先生	8	ミニインプラントの基礎と臨床 インプラント口腔検査法
5 8月29日(日)	山田 了 先生 井汲 憲治 先生	8	再生療法(歯周病における) インプラントの治療計画(CT診断)
6 9月26日(日)	青木 章 先生 木本 克彦 先生	8	レーザー応用の基礎と臨床法 インプラント補綴の基礎と臨床
7 10月24日(日)	河奈 裕正 先生 大村 桂 先生	8	外科手技 オーバーデンチャーの基礎と臨床
8 11月28日(日)	奥寺 元 先生 山上 哲賢 先生	8	分子整合栄養医学の基礎と臨床 インプラント診断(長期にわたるインプラント臨床)
9 12月26日(日)	斎藤 正寛 先生 奥寺 元 先生	8	歯科再生医療の最前線 口腔美容外科の臨床
10 平成23年 1月23日(日)	藤田 欣也 先生 松尾 雅斗 先生	8	小外科手技と拡大するインプラント療法 毛細血管診断の基礎
11 2月20日(日)	斎藤 毅 先生 奥寺 元 先生	8	各種インプラント インプラントのリカバリーとメンテナンス
12 3月27日(日)	白川 正順 先生 木本 一成 先生	8	論文の書き方・専門医の道
	研修時間合計	96	

※ 講師の都合上、変更になる場合もございますので、予めご了承下さい。

東京形成歯科研究会会員 北村 豊先生おもラジ出演！



東京形成歯科研究会会員の北村 豊 先生が抱腹絶倒インターネットラジオ
「おもしろラジオジャパン」に出演されました。下記のアドレスで見ることが
できます。是非ご覧下さい。

http://www.omoraji.com/nagano_medical.shtml

事務局より

「倫理シンポジウム」開催のご案内

社団法人日本口腔インプラント学会認定施設 東京形成歯科研究会主催

開催の趣旨

私共「東京形成歯科研究会」は、社団法人日本口腔インプラント学会認定施設として歯科学の発展に寄与すべく努力をいたしております。つたない研究ですがこの数年 総会に随時6演題程度エントリールーさせていだきその会務に励んでおります。当然、学会誌に投稿することもその目的でもあります。現在の社会の状況からも医学倫理規定は重要なものではありません。日本口腔インプラント学会倫理委員会では、種々の規定も暫時整理されていますがまだ確定されていない事があります。その中で現在 開業医は医療、研究に際しては基本的倫理観を持ちながら医師の裁量権にて円満に臨床 および研究を行っております。しかし倫理を重んじるばかり開業医に必要以上に義務を課せられると医学研究の後退や医療を制限されることになり問題が残ります。当施設としては 今回オープン勉強会としてこの問題等幅広く意見を聞きたいと企画いたしましたので皆様のご参加をお待ちしております。

日 時	2010年5月9日(日) 午後1時～4時
会 場	東京歯科大学血脳ホール (東京歯科大学水道橋病院)
参 加 費	無 料
参 加 者	弁護士・大学有識者・ジャーナリスト・内科医病理学者・患者・歯科関係者
話題提出者	奥寺 元 (東京形成歯科研究会会長) ほか
協 議 議 題	①骨質関連マーカーの血液検査について ②親の遺言の病理献体について ③開業医の倫理規定のあり方、その他

お申込一般参加者

社団法人日本口腔インプラント学会認定施設 東京形成歯科研究会 倫理シンポジウム開催 お申込：

お名前(フリガナ)：	
ご住所：〒	
TEL：	FAX:

〒114-0002 東京都北区王子2-26-2-3F 王子歯科美容外科クリニック内 TEL03-3919-5111 FAX03-3919-5114 E-mail:okudera@carrot.ocn.ne.jp

東京形成歯科研究会

東京形成歯科研究会用語勉強会のお知らせ

拝啓

陽春の候、時下益々ご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを頂き、厚く御礼申し上げます。

倫理勉強会に続いて下記の内容で勉強会を開催致します。どちらも締切り期限があった事から慌しく異例の実施ですが、チャンスをものにしたいためです。御理解を宜しくお願い致します。

今回は、インプラント学会の用語集2版の発行に伴い、評議員に検討を求められております。用語に対する認識はその人の実力にも絡み、インプラントを精通する事にも影響を与えます。はたまた英文論文検索や国際的活動にも影響致します。また、会員が海外留学を考えている人のためにも勉強会を兼ねて会で用語集を精査したいと思います。参加者は学会用語委員の先生や英文論文翻訳に携わっている先生を6月12日(土)に列席頂き、一泊しての勉強会を考えております。翌日13日(日)も午前中から勉強会を開催し、午後3時解散を目途に考えております。

何卒、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：平成22年6月12日(土)～13日(日)
午後2:00集合(水上温泉水上館)
宿 泊：水上温泉 水上館
〒379-1612 利根郡みなかみ町小日向573
TEL：0278-72-3221 FAX：0278-72-3229

以上

☆ 6月12日(土)・13日(日)の勉強会に参加 します ・ しません

お名前：_____

※ 参加希望の方は、お名前をご記入の上、FAXにて事務所に送信下さい。

〒114-0002 北区王子2-26-2-3F
王子歯科美容外科クリニック内
東京形成歯科研究会
会長 奥寺 元
TEL：03-3919-5111
FAX：03-3919-5114
E-mail：okudera@carrot.ocn.ne.jp